

[報告 2]

TAC 活動による農家の要望にもとづく購買と販売の 事業改革の実践およびその成果

綿貫利光 (JA 利根沼田営農経済渉外課長)

1. 「出向く」渉外活動の重要性



当 JA では、平成 11 年に、営農経済・物流配送機能を備えた「営農経済総合センター」が稼動した。配送業務を運送業者に委託することにより、JA 職員の合理化が図られ、営農担当は窓口業務に専念するようになった。

しかし、それにより職員が組合員のもとに「出向く」活動が激減し、その隙間で、業者に活発な営業展開をされてしまった。次代を担う若い後継者、大口農家、法人農家の JA 利用率が低下し、接点がなくなっていくことに危機感を感じ、事業確保に向けた「攻め」の姿勢が必要だと認識に至った。

そこで、まずは試験的に「出向く」渉外活動を開始した。組合員を訪ねてみると、「JA が訪問活動をするのか。これはいいことだ」と非常に喜んでくださり、1 年間続けた結果、供給実績金額で 2 億 6,000 万円の成果をあげることができた。これが理事会で認められ、平成 18 年 2 月、「営農経済渉外課」が設置されることとなった。

2. 渉外活動の実際

営農経済渉外課のメンバーは、各支所の営農経済課長兼務による 14 名。それを、作物別で管内 4 ブロックに分け、月に 1 度のブロック会議で問題の解決を図ることとした。また、営農経済渉外課全員の意識改革のために、外部コンサルを起用して研修会を実施した。これにより、平成 18 年度、巡回回数 5,700 件、供給金額(購買品)5 億 8,000 万円の実績をあげることができた。しかし一方で、各支所業務との兼任体制では、渉外活動には限界があることも見えてきた。

そこで、平成 19 年 4 月からは、8 名の専任渉外員を営農センターに集約して配置することとした。また、支所窓口の繁忙期対策として、渉外課女子職員による窓口サポート制度も導入した。

渉外課の主な活動は、営農相談と農業資材の事業量拡大を主眼にした次の 2 つである。

- ① 肥料シェア拡大の方策として「提案型・肥料散布省力システム」を導入し、全農・肥料メーカーと同行推進を展開する。
- ② 土壌診断を実施し、その結果に基づき、全農系統メーカーの工場から土壌改良剤・元肥を農家に直送する「セルフブレンド」システムを推進する。

この事業の農家側のメリットとしては、①元肥・改良材をブレンドすることで一発処理が可能になり、労働生産性の向上、トラクター等の燃料費削減、作業時間の短縮などが実現した。②圃場ごとの施肥管理・トレーサビリティが可能になった。③改良剤・肥料がブレンドされているため、作業ミスがなくなり、夫婦喧嘩が減った。

JA にとっては、メーカーからの直送でコスト削減や窓口業務の軽減が図られたというメリットとともに、組合員から「とにかく楽になった」と非常に感謝され、注文も商系から JA に戻ってきている。初年度の取り扱いは 8 件 20 トンだったが、現在は 200 件 1,500 トンにまで増加している。

3. 渉外活動の成果と今後の課題

平成 19 年度、渉外課の活動実績は、巡回件数 11,726 件、有効面談 7,624 件(面談率 65%)、供給金額(購買品)6 億 8,000 万円、渉外員 1 名あたり 8,500 万円の数字をあげることができた。活動の基本はとにかく「出向く」こと。ノルマを課し、それを達成することを

目指すのではなく、なるべく多くの組合員のもとに出向くことが、結果として数字につながってゆくのである。

平成 20 年 4 月からは、営農経済渉外・生産資材・生活資材の 3 業務を 1 本化する。まずは情報の共有化に取り組み、営農相談を主にした渉外活動・農業資材の事業拡大という同じ目標に向かって職員の連携をはかりながら、活動を展開したい。

近い将来は、営農渉外、ライフ・アドバイザー、金融渉外等が連携し、「JA だからできること」「総合事業だからできること」を検討し、事業間を越えた「JA 総合渉外」を目指したいと考えている。

そのためには、まず、経営者層に渉外を理解してもらうこと。次に JA の共通認識として、事業間を越えた連

携、協調、情報の共有化等、横の広がりを確保すること。それがうまくいけば、JA の力を発揮した渉外活動が可能になると考えている。

もう一つの重要な課題は、職員育成である。ベテラン渉外員が若手の資材担当者を育成するなど、将来を見据え、速やかに世代交代をしていける体制をつくりたいと考えている。

渉外活動は、組合員に感謝される「最大の奉仕」の精神が必要であり、常に組合員が主体であることを忘れてはいけない。私たちは「農家の庭先まで出向こう」を合言葉に、組合員の期待に応えられるよう、日夜奮闘している。